

知って備える 防災メモ

第16回



雨の季節が到来！ 浸水害や土砂災害に注意！

●大雨により起こる災害の種類

大雨により重大な災害が起こる恐れがあると予想した場合に、気象台は大雨警報を発表します。大雨による災害は、低い土地に水が集まって起こる浸水害と、崖崩れや土石流などの土砂災害があります。このうち土砂災害は、土中にたまった水分が多いほど発生の可能性が高くなります。

●土砂災害警戒情報について

大雨警報が発表中で、さらに土砂災害の危険度が高まっているときは、過去の降雨記録や土砂災害の発生状況、土中の水分量から判断し、北海道と気象台が共同で土砂災害警戒情報を発表します。

●土砂災害警戒情報が出たら…

土砂災害警戒情報が発表された場合、崖の近くなど土砂災害の発生しやすい地区にお住まいの皆さんは、早めの避難を心掛けるとともに、市が発表する避難勧告などの情報に注意しましょう。

▼問い合わせ 総務グループ

(☎) 1130



人が輝き まちがときめく

仲間たち

Group

登別人物デッサンサークル

『登別人物デッサンサークル』は、絵画の基礎であるデッサンの学習を目的に平成15年に結成されました。現在会員は17人。月に2回、第2・第4水曜日に鉄南ふれあいセンターなどで活動しています。

「人物のデッサンを中心に活動しているサークルは登別では珍しいですよ」と話すのは、代表の田村^{たむら}きん子^こさん。

「忙しい日々の生活の中で、デッサンをしているときは自分の時間を楽しむことができます。人物を描けるようになれば物も大きさなどを考えながら描けるようになり、描く楽しみや幅が広がりますよ」と、田村さんは笑顔でデッサンの魅力を話してくれました。

木炭1本で表現する奥深さと楽しさを実感しながら描いています



▲真剣なまなざしでデッサンをする皆さん

サークルには講師として赤谷^{あかたに}良文^{よしふみ}さん(道展会員)がおり、きめ細かなアドバイスをしてくれます。結成当時は趣味でデッサンをしていた方が集まっていたが、最近では初めてデッサンに取り組む会員も増えていきます。約3年前に入会した南^{みなみ}孝子^{たかこ}さんは、「木炭1本で表現することとはとても奥が深く、やればやるほど面白いです。少しずつ上達していき、生き生きとした絵を描けるようになっていくことがうれしいですね」と、活動の楽しさを語ってくれました。

同サークルでは出来上がった作品を発表する作品展も開催しています。

見学を希望する方は田村さん(☎)3460)まで。

登別の特性を生かした 基本計画を目指して

「夢のあるまちをつくる」ということは、例えば、道内各地との交通の利便性や、国内外から多くの観光客が訪れることなど、登別の特性を生かすことです。この登別を、市民はもちろん観光客や定住を考えている方のためにも、たくさんの方が生活する活力や魅力あふれるまちにしていくのが私の夢ですね」と話す仲川弘誓さん。

さまざまな市民活動団体で積極的な活動を展開する一方、仲川さんは、市民の立場で登別市総合計画の策定にも参画してきました。

「おおよそ50年間の総合計画の中で、第1期と第2期の基本計画を踏まえ、総合計画に掲げられたまちの姿を実現するためにも、折り返しに当たる第3期基本計画は重要なものになります。登別も他の地方都市と同じく、これから人口減少や少子高齢化が一層進んでいくことになると思います。市民検討委員会の6つの部会では、多くの市民活動団体の思いも取り入れながら、市民が主体となつてまちの将来を考えていきたいですね」と、仲川さんは力を込めて話します。



▲市民検討委員会の委員長として議論をまとめる仲川さん（中央）

責任を持ってまちの あり方を考えたい

仲川さんは、登別に移り住んだ当初、周囲に知り合いもない環境の中、地域のことをもつと知ろうと、初めに青年会議所の活動に参加したのがまちづくりに関わることになったきっかけと話します。

「青年会議所では、たくさんの方が真剣にまちの活性化を議論したり行動したりしている姿を見て、自分も責任を持ってまちのあり方を考えていきたいと思いましたが、それから24年経ちますが、今でもそのときの思いを忘れず、時間がある限りまちづくり活動に携わっていききたいですね」と振り返る仲川さん。

まちづくりの夢や熱い思いを持つて、議論を進めていきます。



KIRARI

なか がわ ひろ ちか
仲川弘誓さん(中央町)

おおよそ50年後のまちのあるべき姿に向けた総合的なまちづくりの指針として、市民の皆さんの参画を得て平成8年度に策定した登別市総合計画。総合計画には、基本構想として市が目指すまちづくりの理念や視点、テーマが掲げられ、市は10年ごとにこれを実現するための基本計画を策定しています。

第3期基本計画（平成28年度～平成37年度）に向け、市職員による庁内検討委員会と協働で策定に取り組もうと、3月25日(火)に市民検討委員会が設けられ、市民活動団体の推薦者や公募の市民による委員41人の中から、委員長に仲川弘誓さんが選ばれました。

仲川さんに、第3期基本計画策定への抱負やまちづくりへの思いなどを聞きました。

たくさんの若者が生活する魅力あふれる 登別にするのが夢



昭和34年、日高郡新ひだか町生まれ。55歳。
東日本学園大学（現：北海道医療大学）歯学部を卒業後、同大学勤務を経て、平成2年、市内に歯科医院を開業。仕事の傍ら、これまで青年会議所やロータリークラブをはじめ、さまざまな市民活動団体の代表を務め、まちづくり活動に積極的に関わってきた。